

平成24年度

# 月例文化講座

—公開講座—

開講 **50** 周年

公開講座開講のごあんない

## 年間テーマ 文化とことば

年間講座予定 (文学部コミュニケーション学科担当)

**第1回** 通算353回 **5月12日** 土曜日 **日本人はなぜ英語が苦手なのか** 教授 豊住 誠

中学校、高等学校、大学と通算8年間も英語の勉強をしたはずなのになかなか英語が上達しない・・・。英語力が思うように伸びないのは、努力が足りないからなのでしょう。この講座では、英語の構造や、教え方、そして日本のおかれている「場」といった観点からその原因を考えてみたいと思います。

**第2回** 通算354回 **6月9日** 土曜日 **ケータイ文化とつながり確認のことば** 講師 前田至剛

私たちは携帯電話を様々な目的に利用していますが、通話とメールでは若干利用目的が異なります。メールはどちらかというと、いつでもどこでも、都合がよく、他者とのつながりを確認するために利用されやすい傾向にあります。そのため一日何十通と送受信する人も少なくありません。それは依存症なのでしょう。それともコミュニケーションの高度化なのでしょう。特に若年層の利用実態をもとに解説します。

**第3回** 通算355回 **7月14日** 土曜日 **英語はどこからきたのか？ -英語の起源をさぐる-** 教授 児玉玲子

世界には多くの言語が存在し、その数は3,000語とも5,000語とも言われています。その中で、小さな島国で話されていた英語がどうして国際語となったのでしょうか？波乱に富んだ英語の歴史を振り返ってみます。また、私たちの馴染みのある英単語の起源や由来、あるいはそこに存在する日本語との発想の違いなどもお話ししたいと思います。

**第4回** 通算356回 **9月8日** 土曜日 **岡倉天心とアメリカ** インターナショナリズム **-真の国際性とは-** 教授 池田久代

19世紀末から20世紀初頭にかけて、岡倉天心の海外活動が本格的に始まりました。インド、中国、アメリカ、イギリス、ヨーロッパを歩き、日本美術とアジア文明を西欧に喧伝した岡倉の足跡を、特にアメリカにおける仕事と人脈という観点から辿ります。本講座ではボストン美術館勤務時代の岡倉の活動を紹介して、その先鋭的な国際意識・国際性について考えます。

**第5回** 通算357回 **10月13日** 土曜日 **アホ・バカ分布と日本文化** 教授 外山秀一

日本の文化は、東西性やアホ・バカ分布にみられるように周囲論、そして複合発展論などに特徴づけられます。ここでは、日本文化の東西性を地形などの自然的要因や通婚圏などの人為的要因から検討するとともに、アホ・バカ分布に基づいて言語文化の波及のあり方を理解し、多様な日本の文化の特徴を考えてゆきます。

**第6回** 通算358回 **11月17日** 土曜日 **ことばと文化の諸相** 教授 山田やす子

「言語相対説」という考え方があります。異なった言語を話す人は、物の見方も認識の仕方も相対的に違ったものになる、という仮説です。異なる言語間での通訳や翻訳においては往々にしてこの問題が生じてきます。本講座では、文化とことばについて様々な観点からお話しし、また、国連とEUの公用語の比較などを通して、文化におけることばの重要性についても考えたいと思います。

**第7回** 通算359回 **12月8日** 土曜日 **中国の茶文化について** 教授 張 磊

三大飲料と云われる「お茶」「珈琲」「ココア」の一つであるお茶は数千年の歴史を誇ります。中国の乾隆という皇帝が「国不可一日無君、君不可一日無茶」だというほどでした。お茶は薬用から食用へという長い歴史を経て、今欠かせない日常必須品になってきました。本講演は中国の茶文化について紹介します。

◎ 各講座の内容については、本学ホームページ (<http://www.kogakkan-u.ac.jp/>) でもご覧になれます。

- 時間 各日とも 午後2時より
- 場所 皇學館大学 4号館 431教室
- 聴講料 無料 事前の申込みは、不要です。お気軽にお越しください。

お問合せ先 企画部 TEL 0596-22-6496

主催：皇學館大学 後援：伊勢市・伊勢市教育委員会・伊勢商工会議所



創立明治15年

# 皇學館大学

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704  
TEL. 0596(22)6496 FAX. 0596(27)1704  
<http://www.kogakkan-u.ac.jp>